

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	企画部 IR推進課	小宮 健志
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	① 特定複合観光施設(IR)区域の整備	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 157,142	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)							(取組項目)			
観光需要が急速に拡大するアジアに最も近いという本県の強みを活かし、全国で3か所を上限とする区域認定を獲得し、九州・長崎IRを実現することで、交流人口の拡大による観光・地域経済の活性化、良質な雇用創出の好循環を生み出し、九州の地方創生、ひいては我が国の発展にも貢献します。							i) 区域整備計画作成 ii) 広域連携・機運醸成 iii) 県民理解促進			
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	目標値①		/	—	認定	—	—	—	認定(R4)	
	実績値②		/	/	/	/	/	/	進捗状況	
国による特定複合観光施設(IR)区域整備計画の認定		達成率②/①	/	/	/	/	/	/	—	平成30年7月、特定複合観光施設区域整備法(IR整備法)が公布された。令和2年12月にはIR整備に向けた国の基本方針が公表され、区域認定は令和4年度となる見通しである。こうした状況を踏まえ、令和2年度は、国の基本方針に基づき、実施方針を策定・公表し、IR事業者の公募・選定手続きを開始するとともに、九州の合意形成に向けた九州各県・経済団体等への働きかけ、県民の理解を深めるための広報活動等を行った。

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和2年度事業の成果等			
				R元実績	R2実績	R3計画		うち一般財源	人件費(参考)	R元目標		R元実績	達成率	
取組項目 i ii iii	○	1	特定複合観光施設導入推進事業費	事業実施の根拠法令条項			令和2年度事業の実施状況(令和3年度新規・補正事業は事業内容)	主な指標	R元目標	R元実績	達成率	●事業の成果 ①令和2年12月に公表された国の基本方針を踏まえ、令和3年1月に実施方針を策定・公表した。 ②令和3年1月にIR事業者の公募・選定手続きを開始し、国内外の5事業者から応募があった。令和3年3月には、二次審査に進む3事業者を選定した。 ③令和2年10月の九州地域戦略会議において、九州の経済界、行政、議会が一体となった九州IR推進協議会の設立が承認された。 ※令和3年4月に同協議会発足 ④令和2年11月に官民の団体が協働して、懸念事項の最小化に向けた検討を行う、九州・長崎IR安全安心ネットワーク協議会準備会を設立した。 ⑤令和2年度中に県民向けのWebセミナーや県政出前講座を開催し、延べ924名が参加した。 上記の成果により、目標であるIR区域認定の獲得に向けた、国への申請準備を加速することができた。		
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業			他の評価対象事業(公共、研究等)	R2目標			R2実績	
				所管課(室)名	事業対象				R3目標					
				117,233	111,210	79,540			【活動指標】 関係機関との会議(佐世保市・九州の経済団体等)開催回数(回)	70	93		132%	
				157,142	151,011	78,240			本県へのIR導入に向け、実施方針を策定・公表したうえで、IR事業者の公募・選定手続きを開始するとともに、九州の広域連携に向けた働きかけ、県民の理解を深めるための広報活動等を行った。	【成果指標】 実施方針の策定	策定		案策定	—
				190,076	179,153	102,089				【成果指標】 事業者の公募・選定に向けたコンセプト募集(回)	策定		策定	—
H26-				【成果指標】 事業者の公募・選定	1	1	100%							
IR推進課	長崎県・佐世保市IR推進協議会			【成果指標】 区域整備計画の作成(件)	—	—	—							
—				【成果指標】 区域整備計画の作成(件)	—	—	—							
—					1									

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	<p>区域整備計画作成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (実績の検証) 令和2年度は、国の基本方針を踏まえ、実施方針を策定・公表した。また、IR事業者の公募・選定手続きを開始し、応募があった国内外の5事業者から、二次審査に進む3事業者を選定した。 (課題) IR区域認定を獲得するため、令和4年4月末までの認定申請に向けて区域整備計画を作成する。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 今夏決定した設置運営事業予定者と共同し、区域整備計画の作成を着実に進める。</p>
ii	<p>広域連携・機運醸成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (実績の検証) 令和2年度は、九州地域戦略会議において、九州の官民が一体となってIR誘致に取り組むとともに、IRの高い経済効果を九州及び県内へ波及させることを目的とした九州IR推進協議会の設立が承認された。 (課題) ビジネスネットワークの構築や広域周遊観光の促進に向けた関係団体との連携強化が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和3年度は、4月に発足した九州IR推進協議会を核として、地元調達促進に向けたビジネスセミナー等を開催するとともに、民間主導によるビジネスネットワークの体制づくり、広域周遊観光促進に向けた検討を進める。</p>
iii	<p>県民理解促進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (実績の検証) 令和2年度は、県民向けのWebセミナーや県政出前講座を開催し、延べ924名が参加した。また、令和2年11月には懸念事項の最小化に向けた取組を行うことを目的とした、九州・長崎IR安全安心ネットワーク協議会準備会を設立した。 (課題) 今夏決定した設置運営事業予定者の事業計画や同事業者と共同で作成する区域整備計画について、様々な機会を通して説明を行い、県民の更なる理解促進に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和3年度は、事業者を選定し、区域整備計画を作成する時期であり、本県IRの施設規模や機能も具体化することから、様々な機会を通し、きめ細かな広報活動を行うとともに、地元説明会や公聴会等の開催を通して県民の理解を深める。</p>

4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	事業期間	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載			
取組項目 i ii iii	○	1	特定複合観光施設導入推進事業費	—	⑨	○区域認定後に事業者との間で実施協定を締結し、その実施状況の評価等を行いながら、着実かつ効果的な事業推進を図る。 ○区域整備計画に基づき、総合的な交通・周辺インフラの整備や広域周遊観光の促進、懸念事項の最小化に向けた対策等を実施する。	拡充

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点